

**2008年3月期**

**決算短信添付資料（決算説明会資料）**

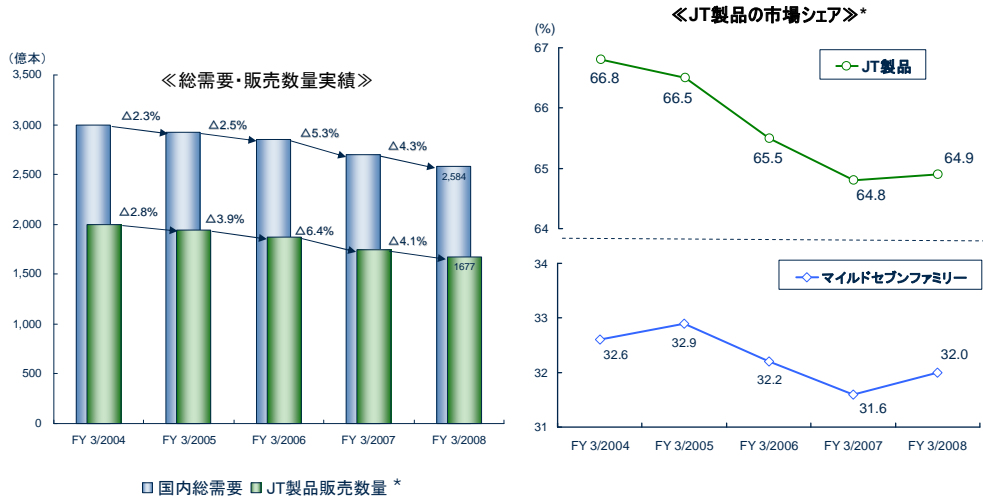


**事業別概況と今後の課題**



## 事業別概況と今後の課題（国内たばこ事業）

- 構造的な要因により、引き続き総需要は減少したものの、市場シェアの反転を達成



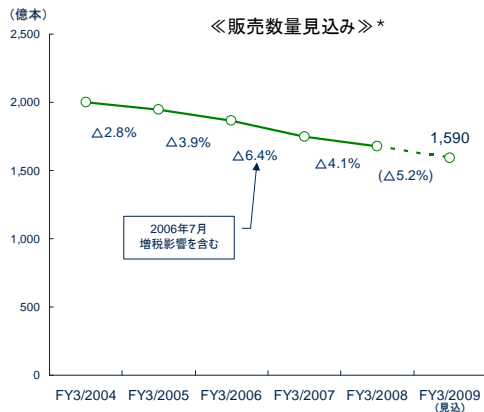
\* 新ベース=JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウインストン・セーラム等)

3



## 事業別概況と今後の課題（国内たばこ事業）

- 事業環境が厳しさを増す中、シェア拡大に向けた取組みを継続・強化し、2期連続シェアの増加を目指す



### ブランド戦略

- ◆ マイルドセブンを中心とした主カブランドへの積極的な投資を継続
- ◆ 主カブランドを中心とした効果的な新製品投入

### チャネル戦略

- ◆ CVSを中心とした対面販路の優位性確保
- ◆ 自販機販路での競争力を維持

### 生産性の向上

- ◆ コスト競争力の強化
- ◆ 金沢工場閉鎖

### 成人識別たばこ自動販売機の円滑な導入と運用

- ◆ 未成年者喫煙防止という社会的責任を果たす

圧倒的なマーケットリーダーとしての  
地位を盤石なものに

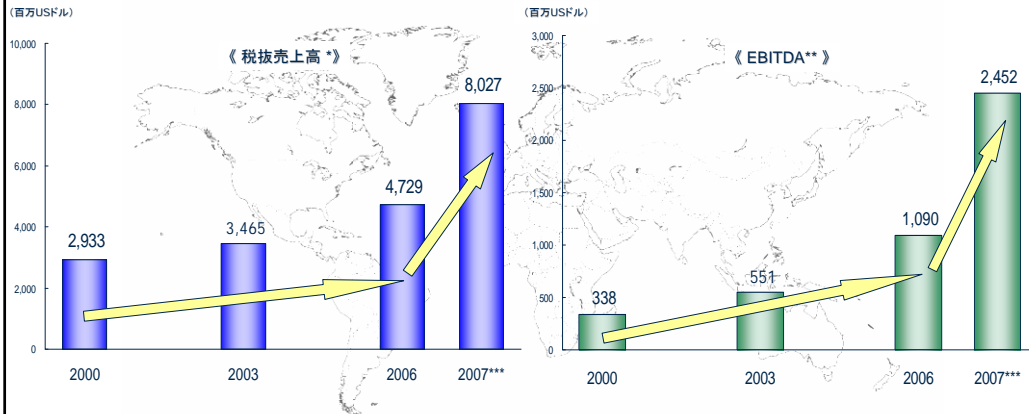
\* 新ベース=JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウインストン・セーラム等)

4



## 事業別概況と今後の課題（海外たばこ事業）

- Gallaherの買収により事業規模が飛躍的に拡大
- 統合作業は迅速に進展



\* Gallaherより承継した物流事業の売上高は除く  
 \*\* JTへのロイヤリティ支払い前  
 \*\*\* 2007年1-12月期については、4月18日以降12月31日までのGallaherの業績を連結

5



## 事業別概況と今後の課題（海外たばこ事業）

- 拡大した事業基盤と新たに獲得したブランド等を活用し、トップライン成長の機会を追求
- JTグループの利益成長の牽引役としての役割を更に拡大
- 今後3年間に亘り、年平均10%以上のEBITDA成長を目指す

### 《 New Global Flagship Brands 》



6



## 事業別概況と今後の課題（医薬事業）

### ■ 開発品の着実なステージアップとR&Dパイプラインの充実を推進

臨床開発品目（2008年5月1日現在）

開発名	適応症	開発段階
JTT-705（経口）	脂質代謝異常	国内:Phase2
JTT-130（経口）	高脂血症	国内:Phase2 海外:Phase2
JTK-303（経口）	HIV感染症	国内:Phase1
JTT-302（経口）	脂質代謝異常	海外:Phase2
JTT-305（経口）	骨粗鬆症	国内:Phase2 海外:Phase1
JTT-552（経口）	高尿酸血症	国内:Phase2
JTT-553（経口）	肥満症	海外:Phase1
JTT-651（経口）	2型糖尿病	国内:Phase1
JTK-652（経口）	C型肝炎	海外:Phase1
JTS-653（経口）	鎮痛、過活動膀胱	国内:Phase1
JTT-654（経口）	2型糖尿病	海外:Phase1

2007年9月:

ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社から高リン血症治療薬を導入

2008年4月:

導出先のロシュ社において「JTT-705」がPhase3に移行

ステージアップ（2品目）

新規臨床試験開始（5品目）

7

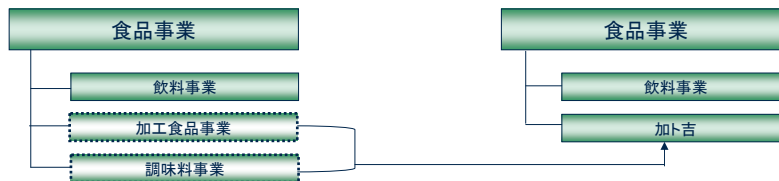


## 事業別概況と今後の課題（食品事業）

### ■ 飲料事業、加工食品事業、調味料事業の3分野に注力するとともに、「食の安全」を再認識し、最高水準の安全管理体制の構築に取り組む

#### ◆ 加工食品事業、調味料事業を加ト吉へ集約

2008年7月：事業再編、食品事業部の機能を加ト吉に集約予定  
2009年3月期 第4四半期：統合完了目途



#### ◆ 安全管理体制の大幅強化への取り組み

- リスク低減に向けた取り組み
  - ✓ 年2回の定期検査や抜き打ち監査の実施及び国際規格「ISO22000」の取得等
- お客様への対応の強化
  - ✓ 商品の生産工場と主な原材料の産地をホームページ等を通じて公開等
- 組織・体制の強化
  - ✓ 日本国内と中国に検査センターの設置や外部専門家の知見活用等

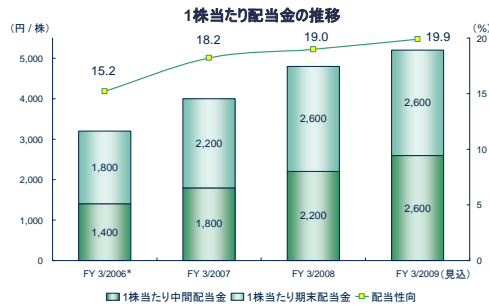
8



## 配当について

### 株主還元

- 中長期的な成長戦略の実施状況や連結業績見通しを踏まえつつ、資本市場における競争力ある株主還元を目指すことを基本方針とし、当面、連結配当性向20%を目指し、さらなる配当水準の向上に努める
- 連結配当性向の算定の基礎となる連結純利益からは、のれんの償却影響を除いた上で、連結配当性向20%の達成に努める
  - ◆ 2008年3月期の1株当たり配当金：中間 2,200円、期末 2,600円
  - ◆ 2009年3月期の1株当たり配当金(見込)：中間 2,600円、期末 2,600円



Note: 2008年3月期および2009年3月期の配当性向はのれんの償却影響を除く

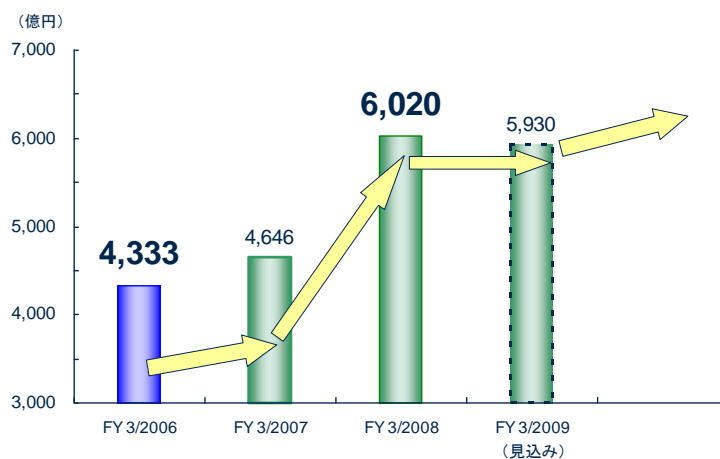
\* 2006年4月1日を効力発生日として、1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、2006年3月期の実績は追及して修正

9



## 企業価値の増大に向けて

- EBITDA水準は「JT PLAN-V」最終年度から飛躍的に拡大



「JT PLAN-V」最終年度

「JT2008」最終年度

10



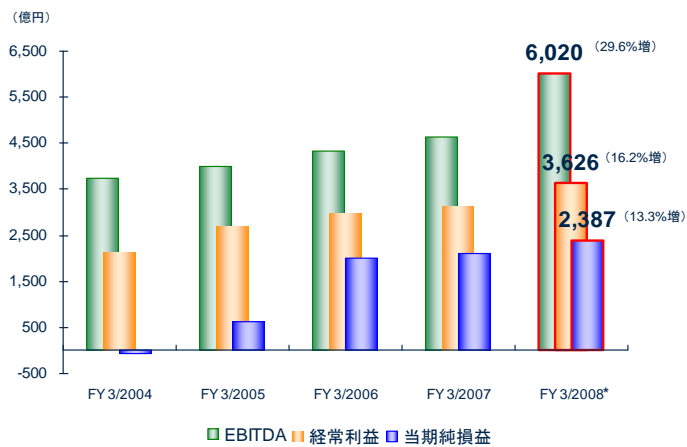
## 財務実績概要



## 2008年3月期 実績

### ■ 業績ハイライト

海外たばこ事業におけるトップライン成長の継続等により、すべての利益指標で対前期比二桁成長



\* Gallaherについては4月18日以降12月31日まで、加ト吉については1月1日以降3月31日までの業績を連結



## 2008年3月期実績

### 国内たばこ事業

販売数量の減少に加え、販売促進費及び原材料費の増加等により、減収・減益

(単位: 億円)

	2007年3月期	2008年3月期	増減
税込売上高	34,162	33,623	△ 538 (1.6%減)
税抜売上高 (除く輸入たばこ)	7,293	7,150	△ 143 (2.0%減)
EBITDA	3,264	3,067	△ 197 (6.0%減)
営業利益	2,453	2,223	△ 230 (9.4%減)

(単位: 億本)

	2007年3月期	2008年3月期	増減
JT製品販売数量	1,749	1,677	△ 71 (4.1%減)

### 海外たばこ事業

Gallaherの連結に加え、トップライン成長の継続等により、前年を大幅に上回る実績

(単位: 億円)

	2007年3月期	2008年3月期	増減
税込売上高	9,996	26,399	16,403 (164.1%増)
税抜売上高 (除く物流事業)	5,503	9,459	3,956 (71.9%増)
EBITDA	1,126	2,707	1,580 (140.3%増)
営業利益	810	2,053	1,242 (153.3%増)

(参考) JTへのロイヤリティー支払い前 (単位: 百万USドル)

	2007年3月期	2008年3月期	増減
EBITDA	1,090	2,452	1,362 (124.9%増)

	2007年3月期	2008年3月期	増減
総販売数量(億本)	2,401	3,856	1,455 (60.6%増)
GFB販売数量(億本)	1,452	2,032	580 (40.0%増)
円ドルレート(円)	116.38	117.85	1.47

Note1: 海外たばこ事業は1-12月期の業績を連結

Note2: 2008年3月期については、2007年4月18日以降12月31日までのGallaherの業績を連結



## 2008年3月期実績

### 医薬事業

「JTT-705」のマイルストーン収入等により、EBITDA、営業損失が改善

(単位: 億円)

	2007年3月期	2008年3月期	増減
売上高	454	490	36 (7.9%増)
EBITDA	△ 81	△ 62	19
営業利益	△ 112	△ 96	15

### 食品事業

加ト吉グループの連結により増収も、農業混入事案に伴う利益減、原材料の増加等により営業利益は減少

(単位: 億円)

	2007年3月期	2008年3月期	増減
売上高	2,865	3,364	498 (17.4%増)
EBITDA	120	83	△ 36 (30.5%減)
営業利益	67	6	△ 60 (90.1%減)

Note: 2008年3月期については、1月1日以降3月31日までの加ト吉の実績を連結



## 2009年3月期業績予想



## 2009年3月期 業績予想

### 国内たばこ事業

販売数量の減少に加え、原材料費・販売促進費の増加、成人識別たばこ自動販売機の運用開始に伴うランニング費用の発生等により減益

(単位: 億円)

	2008年3月期 実績	2009年3月期 見込	増減
税込売上高	33,623	31,650	△ 1,973 (5.9%減)
税込売上高 (除く輸入たばこ)	21,692	20,490	△ 1,202 (5.5%減)
EBITDA	3,067	2,610	△ 457 (14.9%減)
営業利益	2,223	1,730	△ 493 (22.2%減)

【主な前提条件】

(単位: 億本)

JT製品販売数量	1,677	1,590	△ 87 (5.2%減)
----------	-------	-------	-----------------

### 海外たばこ事業

- Gallaher業績の通期化に加え、質の高いトップライン成長により売上高及びEBITDAは増収増益を見込むものの、営業利益については、のれんの償却により減益の見込み
- US\$ベースで10%以上\*のEBITDA成長を目指す

\* 比較可能ベースの2007年1-12月期実績、2,830百万USDを起点とした成長率 (単位: 億円)

	2008年3月期 実績	2009年3月期 見込	増減
税込売上高	26,399	28,960	2,560 (9.7%増)
税込売上高 (除く物流事業)	23,810	26,180	2,369 (10.0%増)
EBITDA	2,707	3,010	302 (11.2%増)
営業利益	2,053	1,440	△ 613 (29.9%減)

(参考) JTへのロイヤリティー支払前

(単位: 百万USD)

EBITDA	2,452	3,180	728 (29.7%増)
--------	-------	-------	-----------------

【主な前提条件】

総販売数量(億本)	3,856	4,500	644 (16.7%増)
GFB販売数量(億本)	2,032	2,430	398 (19.6%増)
円ドルレート(円)	117.85	100.00	△ 17.85

Note1: 海外たばこ事業は1-12月期の業績を連結

Note2: 2008年3月期については、2007年4月18日以降12月31日までのGallaherの業績を連結





## 2009年3月期 業績予想

### Ⅲ 医薬事業

研究開発費(単体)の増や烏居薬品の減益により、減益の見込み

### Ⅳ 食品事業

- ◆ 加ト吉の業績の通期化等により増収の見込み
- ◆ 営業利益は、のれん償却の影響、農薬混入事案の影響に伴う事業量の減少、原材料費の増加等により、減益を見込むものの、EBITDAはリース会計基準の変更、加ト吉の通期化等により増益の見込み

(単位:億円)

	2008年3月期 実績	2009年3月期 見込	増減
売上高	490	445	△ 45 (9.3%減)
EBITDA	△ 62	△ 80	△ 17 -
営業利益	△ 96	△ 120	△ 23 -

(単位:億円)

	2008年3月期 実績	2009年3月期 見込	増減
売上高	3,364	4,860	1,495 (44.5%増)
EBITDA	83	260	176 (211.3%増)
営業利益	6	△ 40	△ 46 -

Note: 2008年3月期については、1月1日以降3月31日までの加ト吉の実績を連結

## 2009年3月期 業績予想

### Ⅴ 連結業績予想

海外たばこ事業のトップライン成長の継続を見込むものの、国内たばこ事業における販売数量の減少や国内たばこ事業、食品事業における原材料の市況悪化等により減益

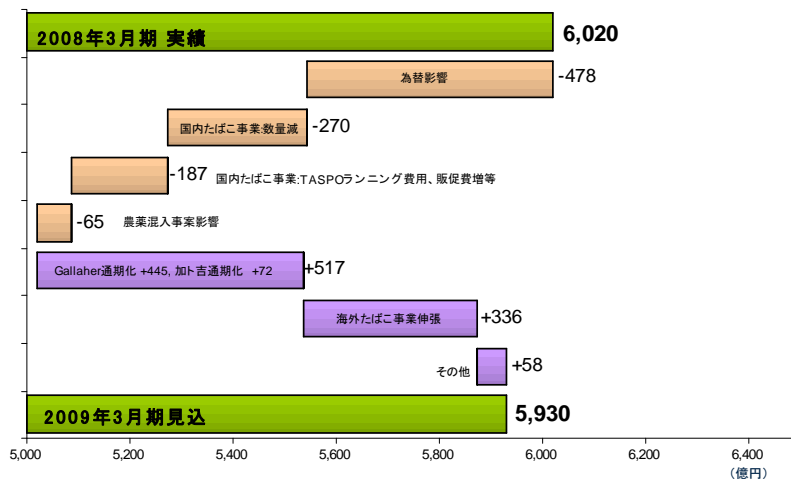
(単位:億円)

	2008年3月期 実績	2009年3月期 見込	増減
税込売上高	64,097	66,100	2,002 (3.1%増)
EBITDA	6,020	5,930	△ 90 (1.5%減)
営業利益	4,305	3,110	△ 1,195 (27.8%減)
経常利益	3,626	2,780	△ 846 (23.3%減)
当期純利益	2,387	1,480	△ 907 (38.0%減)
ROE(%)	11.8	7.7	△ 4.1pt
FCF	△ 14,937	2,650	17,587

Note: 2008年3月期については、4月18日以降12月31日までのGallaher, 1月1日以降3月31日までの加ト吉の業績を連結

## 2009年3月期 業績予想

《 2009年3月期の全社EBITDA見込 》



19



## のれん償却費について

2008年3月期ののれん償却費: 39億円

2009年3月期ののれん償却費: 1,027億円

### 【主なのれん償却費】

#### 海外たばこ事業

旧Gallaher	754百万USドル (15,080百万USドル/20年償却)	2027年3月終了予定
旧RJRI	154百万USドル (3,079百万USドル/20年償却)	2019年4月終了予定

#### 食品事業

加ト吉	90億円 (450億円/5年償却)	2012年12月終了
富士食品工業	11億円 (11億円/1年償却)	2009年3月終了

【参考: のれんの償却影響を除く主要利益指標】

	A	B	C	D	D-B
	2008年3月期 実績	2008年3月期 実績 (のれん償却影響除き)	2009年3月期 見込	2009年3月期 見込 (のれん償却影響除き)	増減
当期純利益(億円)	2,387	2,425	1,480	2,507	81 (3.4%増)
ROE(%)	11.8	12.0	7.7	13.0	1.0pt
EPS(円)	24,916円51銭	25,312円94銭	15,448円72銭	26,168円88銭	855円94銭
配当性向	19.3%	19.0%	33.7%	19.9%	0.9%pt

20



## 当資料取扱上の注意点

### 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

(このスライドは空白です)

## 【参考資料】

### 2008年3月期 実績 および 2009年3月期 業績予想 における増減要因の分析



## 当資料取扱上の注意点

### 将来に関する記述等についてのご注意

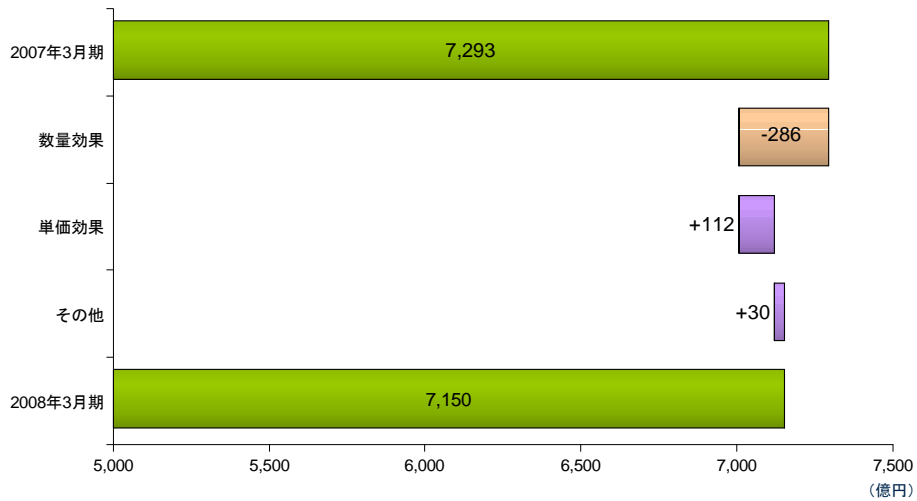
本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げるすることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動



## 2008年3月期 実績

### 国内たばこ事業 税抜売上高（輸入たばこを除く）

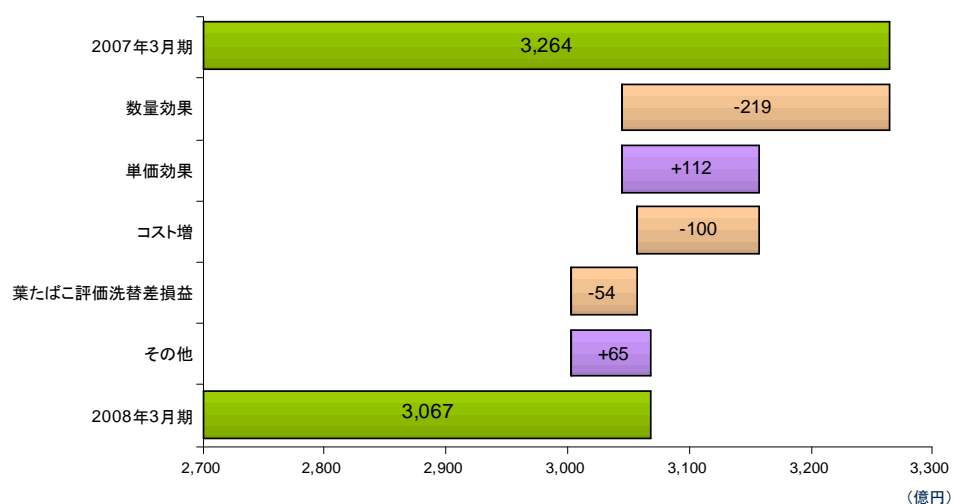


25



## 2008年3月期 実績

### 国内たばこ事業 EBITDA

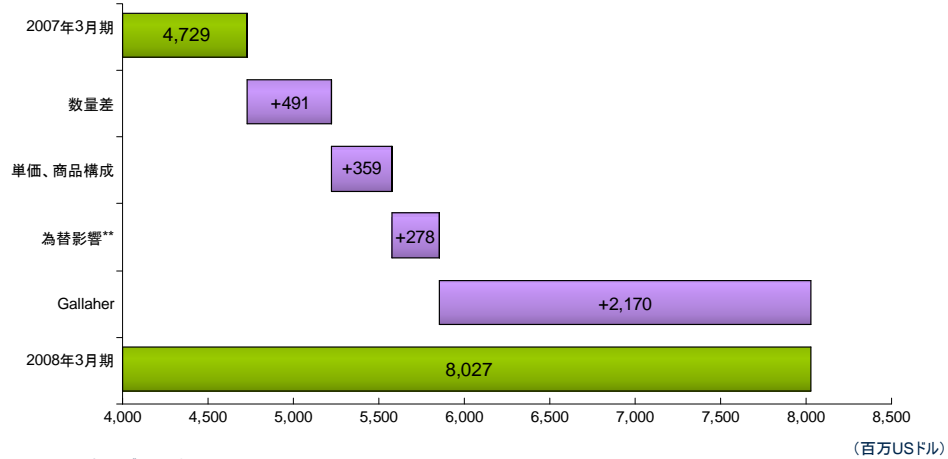


26



## 2008年3月期 実績

### 海外たばこ事業 税抜売上高\*



(参考)セグメント情報ベース  
海外たばこ事業税抜売上高\* 5,503億円 → 9,459億円 (3,956億円増)

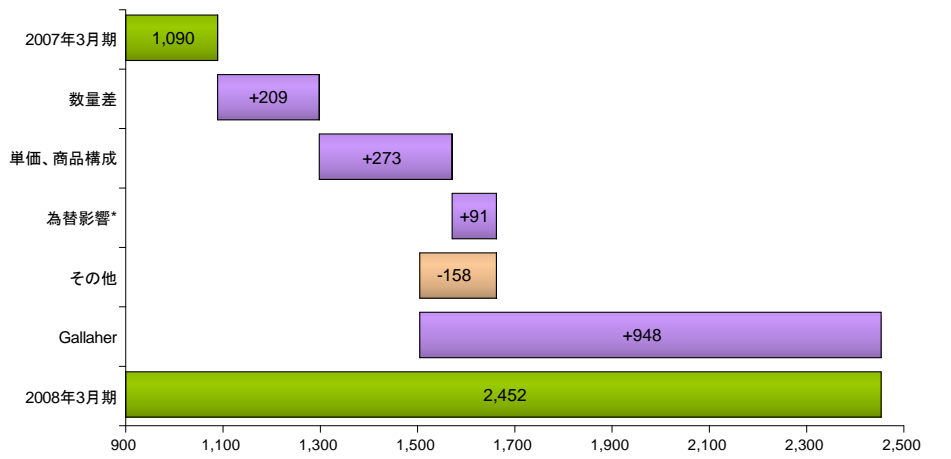
\* Gallaherより承継した物流事業の売上高は除く  
\*\* USドルと各現地通貨との間の為替影響

27



## 2008年3月期 実績

### 海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)

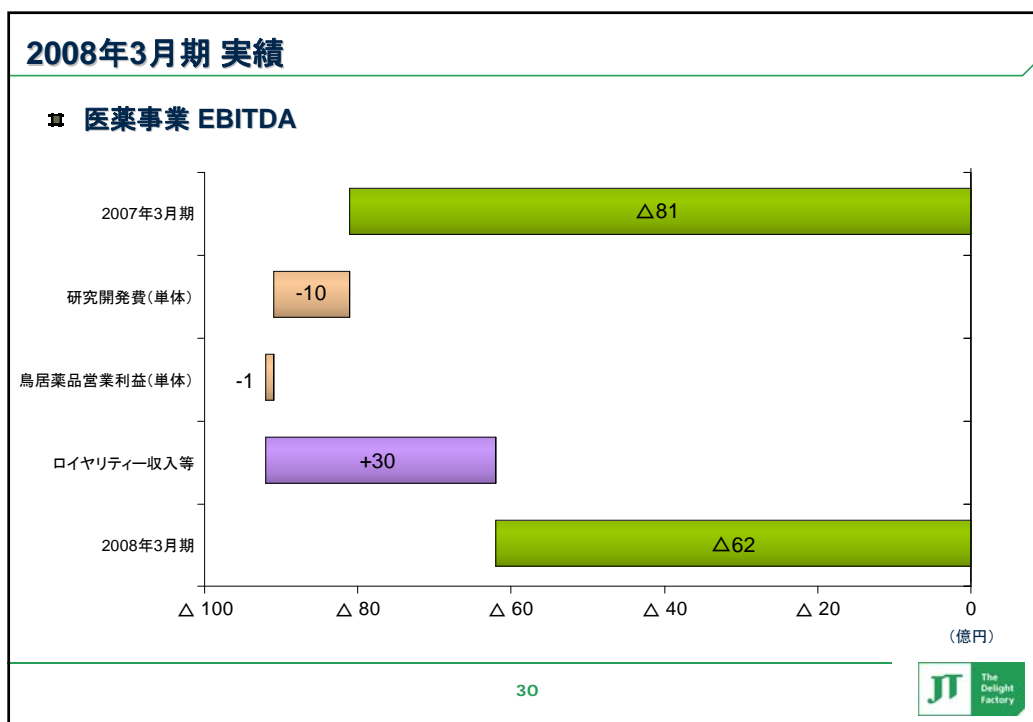
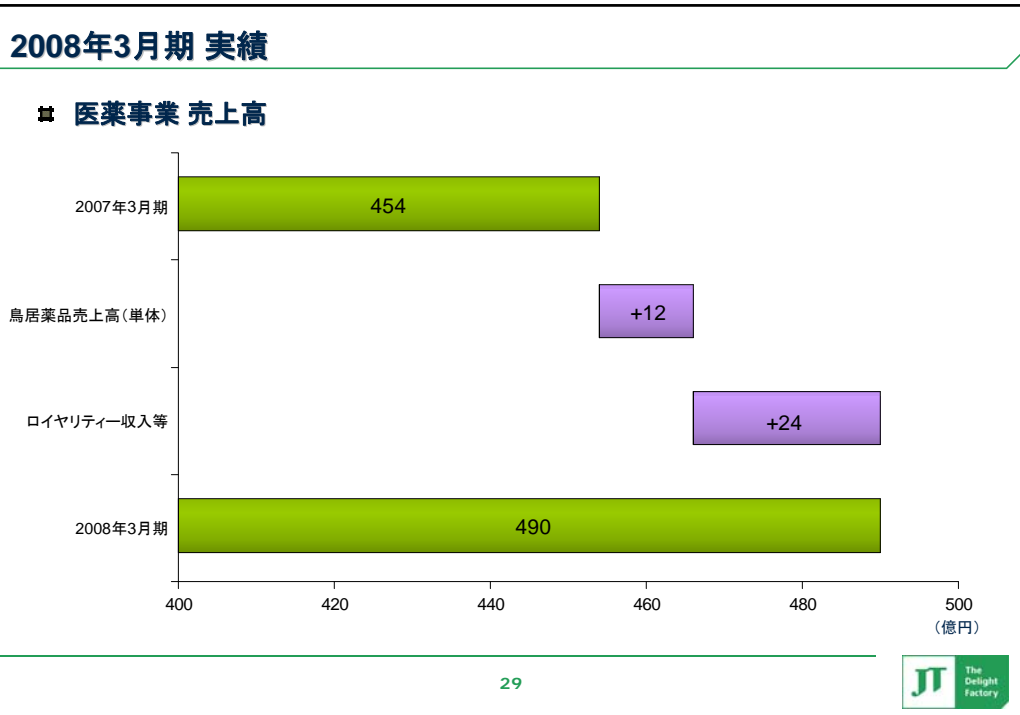


(参考)セグメント情報ベース  
海外たばこ事業EBITDA 1,126億円 → 2,707億円 (1,580億円増)

\* USドルと各現地通貨との間の為替影響

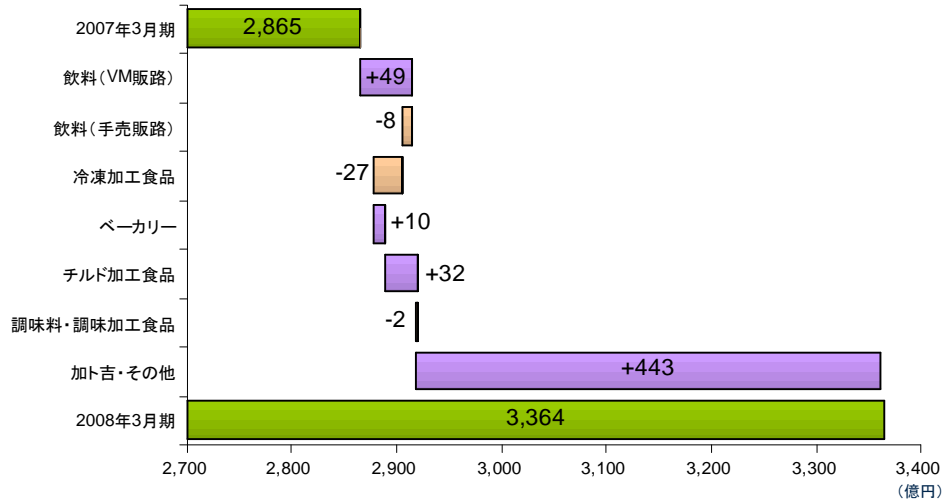
28





## 2008年3月期 実績

### 食品事業 売上高

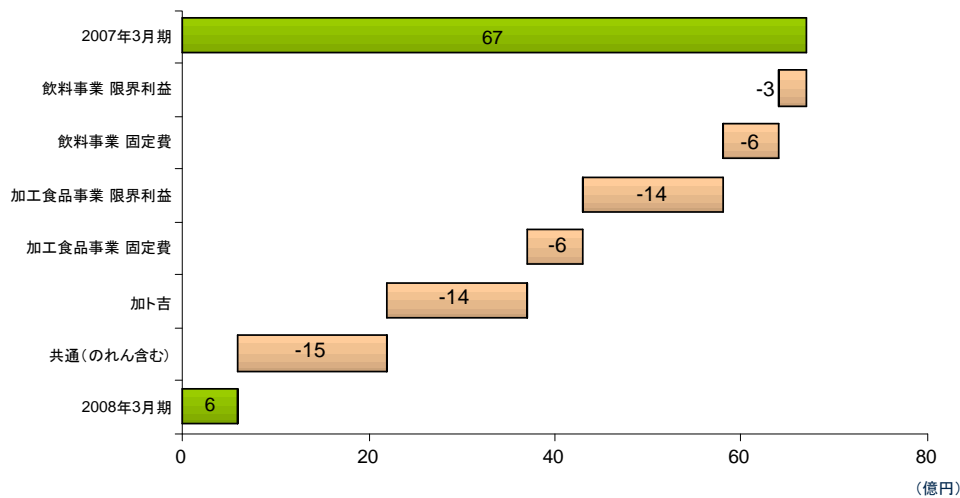


31



## 2008年3月期 実績

### 食品事業 営業利益



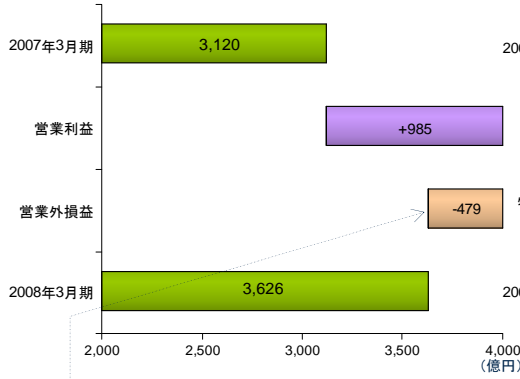
32





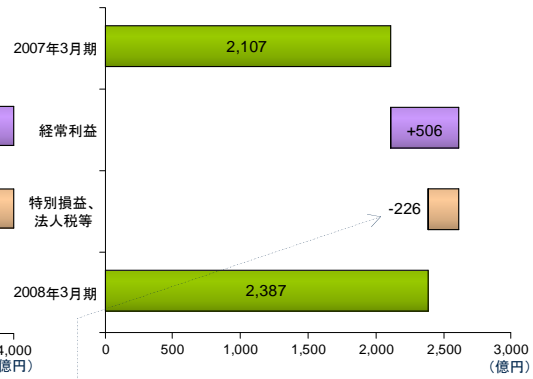
## 2008年3月期 実績

### 経常利益



**改善要因:** たばこ災害援助金の減: 14億円  
受取利息の増: 8億円 等  
**悪化要因:** 支払利息の増: 348億円  
為替差損の増: 173億円 等

### 当期純利益



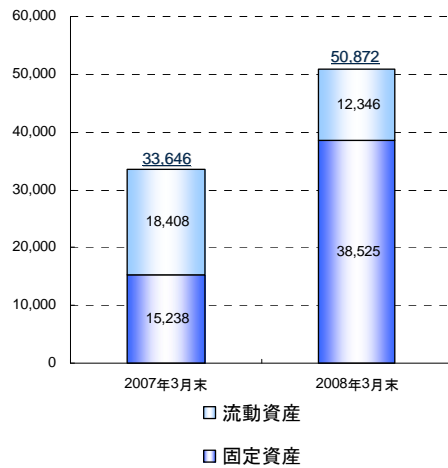
**改善要因:** 固定資産売却益の増: 192億円  
固定資産除却損の減: 40億円 等  
投資有価証券評価損の増: 111億円  
成人識別自販機導入費用の増: 71億円  
**悪化要因:** 事業構造強化費用の増: 64億円  
冷凍食品回収費用の増: 56億円  
法人税等の増: 69億円 等

(このスライドは空白です)

## 2008年3月期 連結貸借対照表のポイント

### 資産の部

(億円)



### 2007年3月末との比較

#### 流動資産は6,061億円減少

- ◆ 手元流動性\*の減少 △9,668億円  
\*手元流動性=現金+有価証券+現先
- ◆ 営業債権\*の増加 +1,756億円  
\*営業債権=受取手形及び売掛金

#### 固定資産は2兆3,286億円増加

- ◆ 設備投資による増加 +1,295億円
- ◆ 減価償却\*による減少 △1,715億円  
\*減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費
- ◆ “のれん”の増加 +1兆7,462億円
- ◆ 商標権の増加 +4,585億円

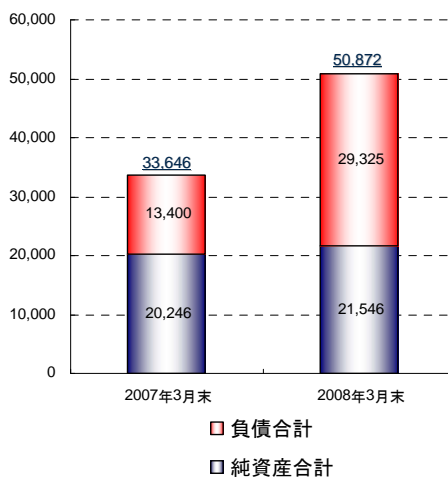
35



## 2008年3月期 連結貸借対照表のポイント

### 負債・純資産の部

(億円)



### 2007年3月末との比較

#### 負債合計は1兆5,925億円増加

- ◆ 有利子負債\*の増加 +1兆1,700億円  
\*有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金
- ◆ 未払たばこ税等\*の減少 △373億円  
\*未払たばこ税等=未払たばこ税+未払たばこ特別税+未払地方たばこ税

#### 純資産合計は1,300億円増加

- ◆ 利益剰余金の増加 +1,861億円
- ◆ 為替換算調整勘定の減少 △488億円

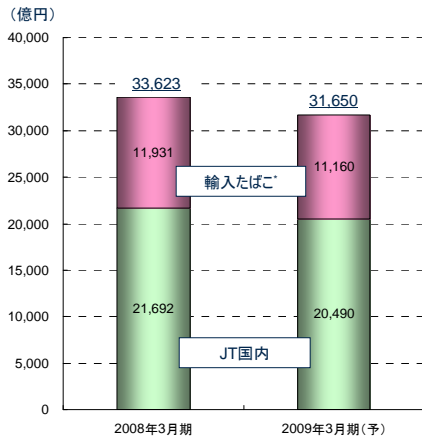
➢ 自己資本比率 **58.3% → 40.8%**

36



## 2009年3月期 業績予想\_対前年度実績

### 国内たばこ事業 税込売上高



#### 【主な減少要因】

- ・JT販売数量の減  
1,677億本 → 1,590億本:  $\Delta 87$ 億本
- ・輸入たばこの減

\* 連結決算上、国内たばこ事業売上高には、子会社であるTSネットワーク(株)が取り扱う輸入たばこ製品の売上高を含んでいます。

37



## 2009年3月期 業績予想\_対前年度実績

### 国内たばこ事業 EBITDA / 営業利益



#### 【主な減少要因】

- ・JT販売数量の減( $\Delta 87$ 億本): 約270億円
- ・コスト増、その他: 約137億円
- ・taspoランニング費用: 約50億円

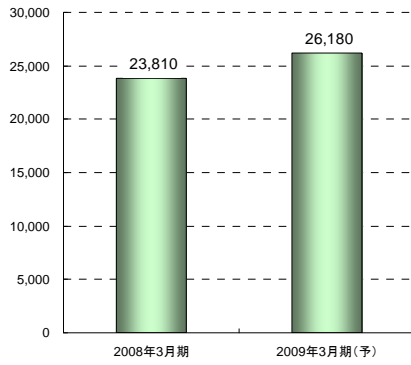
38



## 2009年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 海外たばこ事業 税込売上高

(億円)



#### 【主な増加要因】

- ・Gallaherの連結が通期化
- ・GFBを中心としたトップライン成長

(参考) 連結円ドルレート 117.85円 → 100.00円 (17.85円高)

Note1: 海外たばこ事業は1-12月期の業績を連結

Note2: 2008年3月期については、2007年4月18日以降12月31日までのGallaherの業績を連結

Note3: Gallaherより承継した物流事業の売上高は除く

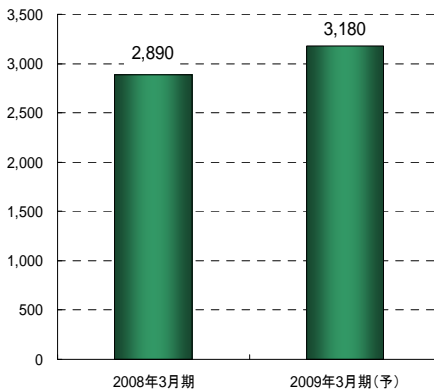
39



## 2009年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)

(億円)



#### 【主な増加要因】

- ・Gallaherの連結が通期化
- ・GFBを中心としたトップライン成長

(参考) セグメント情報ベース

海外たばこ事業 EBITDA 2,707億円 → 3,010億円 (302億円増)

海外たばこ事業 営業利益 2,053億円 → 1,440億円 (613億円減)

連結円ドルレート 117.85円 → 100.00円 (17.85円高)

Note1: 海外たばこ事業は1-12月期の業績を連結

Note2: 2008年3月期については、2007年4月18日以降12月31日までのGallaherの業績を連結

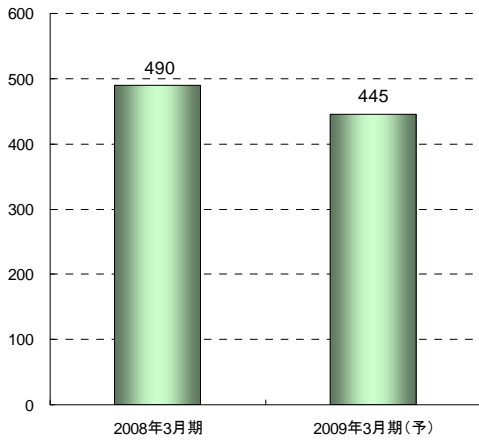
40



## 2009年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 医薬事業 売上高

(億円)



#### 【主な減少要因】

・鳥居薬品の売上高: 408億円→359億円 (△49億円)

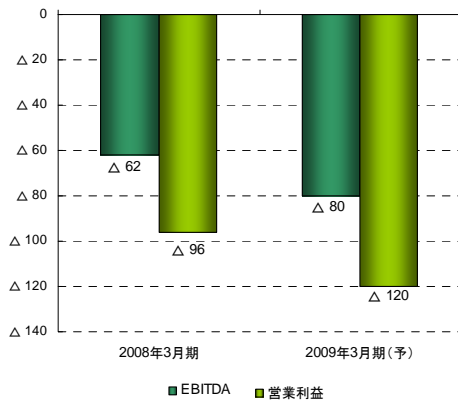
41



## 2009年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 医薬事業 EBITDA / 営業利益

(億円)



#### 【主な減少要因】

・研究開発費(単体)の増

・鳥居薬品の営業利益: 51億円→42億円 (△9億円)

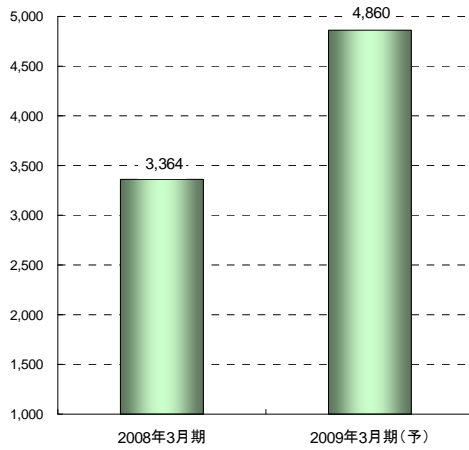
42



## 2009年3月期 業績予想\_対前年度実績

### 食品事業 売上高

(億円)



#### 【主な増加要因】

- ・加ト吉の通期化及び富士食品の新規連結
- ・飲料事業の販売増

#### 【主な減少要因】

- ・JT加工食品事業の売上減

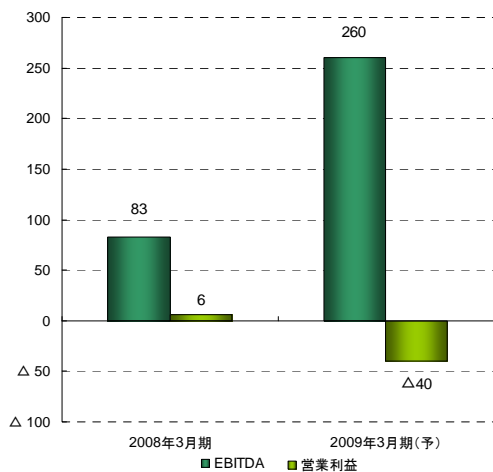
43



## 2009年3月期 業績予想\_対前年度実績

### 食品事業 EBITDA / 営業利益

(億円)



#### 【主な増加要因】

- ・加ト吉の連結が通期化

#### 【営業利益の主な減少要因】

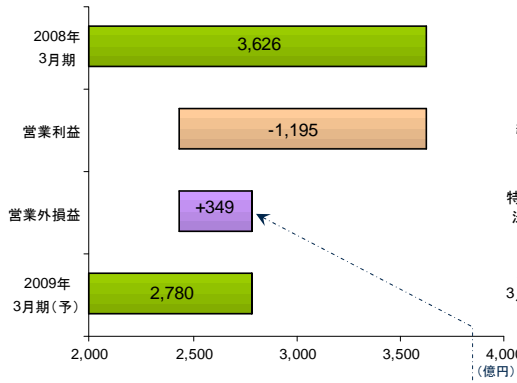
- ・のれん償却費の増加(加ト吉、富士食品)

44



## 2009年3月期 業績予想\_対前年度実績

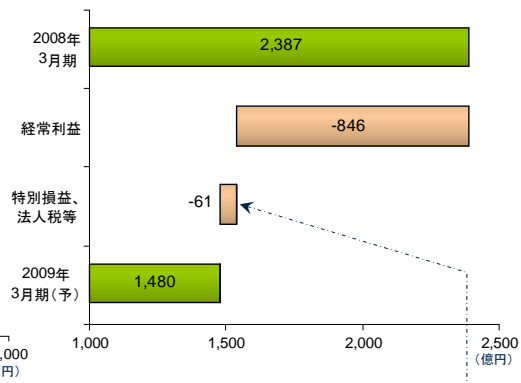
### 経常利益



**改善要因:** 為替差損の改善  
(通貨オプション費用、ユーロ建て社債) 等

**悪化要因:** 支払利息の増加  
(GLH買取に伴う、海外借入金利息の通期化影響) 等

### 当期純利益



**改善要因:** 冷凍食品等回収関連費用の減少  
投資有価証券評価損の減少(カナダABCP) 等

**悪化要因:** 固定資産売却益の減少(大規模物件の売却件数減少)  
減損損失の増加(旧社宅の取壊し) 等

2008年3月期 決算データ集 (1)

1. 売上高の内訳

(単位:億円)

	07年3月期	08年3月期	増減
全社税込売上高 <sup>(注1)</sup>	47,693	64,097	16,403
国内たばこ事業	34,162	33,623	△ 538
除く輸入たばこ	22,000	21,692	△ 308
海外たばこ事業 <sup>(注1)</sup>	9,996	26,399	16,403
除く物流事業	9,996	23,810	13,813
全社税抜売上高 <sup>(注1)(注2)</sup>	16,331	20,683	4,351
国内たばこ事業 <sup>(注2)</sup>	7,293	7,150	△ 143
海外たばこ事業 <sup>(注1)(注2)</sup>	5,503	9,459	3,956
医薬事業	454	490	36
食品事業	2,865	3,364	498
飲料事業	1,907	1,949	41
加工食品事業	957	1,414	457
その他事業	214	218	4

(注1): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ、海外たばこ事業の物流事業を除く

2. 葉たばこ評価洗替差損益<sup>(注)</sup>

(単位:億円)

	07年3月期	08年3月期	増減
葉たばこ評価洗替差損益	△ 95	△ 41	54

(注): マイナス表示の場合は評価益

3. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位:億円)

	07年3月期	08年3月期	増減
販売費及び一般管理費	5,926	7,502	1,576
人件費 <sup>(注)</sup>	1,585	2,060	474
広告宣伝費	234	229	△ 5
販売促進費	1,280	1,636	356
研究開発費	412	451	39
減価償却費	574	803	229
その他	1,838	2,320	481

(注): 人件費=報酬+給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

4. 事業セグメント別EBITDA<sup>(注1)</sup>

(単位:億円)

	07年3月期	08年3月期	増減
全社EBITDA	4,646	6,020	1,374
営業利益	3,319	4,305	985
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	1,326	1,715	389
国内たばこ事業EBITDA	3,264	3,067	△ 197
営業利益	2,453	2,223	△ 230
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	810	843	32
海外たばこ事業EBITDA <sup>(注3)</sup>	1,126	2,707	1,580
営業利益	810	2,053	1,242
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	315	653	338
医薬事業EBITDA	△ 81	△ 62	19
営業利益	△ 112	△ 96	15
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	30	33	3
食品事業EBITDA	120	83	△ 36
営業利益	67	6	△ 60
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	53	76	23
その他事業EBITDA	215	220	4
営業利益	93	104	11
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	122	116	△ 6

(参考)

(単位:百万ドル)

	07年3月期	08年3月期	増減
海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティ支払前)	1,090	2,452	1,362

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費<sup>(注2)</sup>

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

(注3): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

5. 主要投資案件の諸償却費

(単位:億円)

JT	07年3月期	08年3月期	償却年数	終了
旧RJRI関連				
商標権	293	293	10年	'09年4月
特許権	40	5	8年	'07年4月
加ト吉				
のれん	-	21	5年	'12年12月

(単位:百万ドル)

JTインターナショナル	06年12月期	07年12月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連			
商標権 <sup>(注)</sup>	61	220	主に20年
のれん	-	-	20年予定

(注): 商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

6. 資本的支出

(単位:億円)

	07年3月期	08年3月期	増減
資本的支出	1,021	1,295	274
国内たばこ事業	552	572	19
海外たばこ事業 <sup>(注)</sup>	320	484	164
医薬事業	30	42	12
食品事業	48	60	11
その他事業	80	147	67

(注): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

7. 手元流動性<sup>(注)</sup>

(単位:億円)

	07年3月末	08年3月末	増減
手元流動性	11,856	2,188	△ 9,668

(注): 手元流動性=現預金+有価証券+現金

8. 有利子負債<sup>(注)</sup>

(単位:億円)

	07年3月末	08年3月末	増減
有利子負債	2,192	13,892	11,700

(注): 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金

9. 主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	07年3月期	08年3月期	増減
JT販売数量 <sup>(注)</sup>	1,749	1,677	△ 71 億本
国内総需要	2,699	2,584	△ 115 億本
JT販売数量シェア	64.8%	64.9%	0.1%pt
JT千本当税込売上高	12,371	12,699	328 円
JT千本当税抜売上高	3,990	4,057	67 円

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2007年3月期34億本、2008年3月期35億本。

【海外たばこ事業】	06年12月期	07年12月期	増減
販売数量	2,401	3,856	1,455 億本
GFB販売数量	1,452	2,032	580 億本
連結円ドルレート	116.38	117.85	1.47 円

【医薬事業】	07年3月期	08年3月期	増減
研究開発費(単体)	219	229	10 億円

【食品事業-飲料事業】	07年3月末	08年3月末	増減
自動販売機台数 <sup>(注)</sup>	250,500	257,000	6,500 台
うちマーキング機	38,000	35,500	△ 2,500 台
うちコンビ機	66,000	71,500	5,500 台

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・フリック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いつつ、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

10. 従業員数<sup>(注)</sup>

(単位:人)

	07年3月末	08年3月末	増減
従業員数(連結)	33,428	47,459	14,031
国内たばこ事業	11,534	11,548	14
海外たばこ事業	12,401	22,324	9,923
医薬事業	1,554	1,569	15
食品事業	7,084	11,169	4,085
その他事業	461	441	△ 20
全社共通業務	394	408	14
従業員数(単体)	8,930	8,999	69
在籍ベース従業員数(単体)	9,984	10,010	26

(注): 従業員数は就業人員ベース



2008年3月期 決算データ集 (2)

2009年3月期連結業績予想(前年実績比較)

(単位:億円)

	08年3月期 実績	09年3月期 見込	増減
税込売上高	64,097	66,100	2,002
EBITDA	6,020	5,930	△ 90
営業利益	4,305	3,110	△ 1,195
経常利益	3,626	2,780	△ 846
当期純利益	2,387	1,480	△ 907
ROE(株主資本利益率)	11.8%	7.7%	△4.1%pt
フリーキャッシュフロー(注)	△ 14,937	2,650	17,587

(注):フリーキャッシュフロー=(営業活動CF+投資活動CF)但し、以下の項目を除外する。

営業活動CFから

受取配当金/受取利息とその税影響額(42%)

支払利息とその税影響額(42%)

投資活動CFから

有価証券取得による支出/有価証券売却による収入

投資有価証券取得による支出/投資有価証券売却による収入/その他

上記の計算方式に従って計算したフリーキャッシュフローと表中のフリーキャッシュフローとの差は投資有価証券の取得及び売却に含まれる事業投資株式によるもの。

(単位:億円)

	08年3月期 実績	09年3月期 見込	増減
資本的支出	1,295	1,490	194
国内たばこ事業	572	630	57
海外たばこ事業	484	560	75
医薬事業	42	30	△ 12
食品事業	60	230	169
その他事業	147	40	△ 107

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	08年3月期 実績	09年3月期 見込	増減
税込売上高	64,097	66,100	2,002
国内たばこ事業	33,623	31,650	△ 1,973
除く輸入たばこ	21,692	20,490	△ 1,202
海外たばこ事業	26,399	28,960	2,560
除く物流事業	23,810	26,180	2,369
医薬事業	490	445	△ 45
食品事業	3,364	4,860	1,495
EBITDA	6,020	5,930	△ 90
国内たばこ事業	3,067	2,610	△ 457
海外たばこ事業	2,707	3,010	302
医薬事業	△ 62	△ 80	△ 17
食品事業	83	260	176
営業利益	4,305	3,110	△ 1,195
国内たばこ事業	2,223	1,730	△ 493
海外たばこ事業	2,053	1,440	△ 613
医薬事業	△ 96	△ 120	△ 23
食品事業	6	△ 40	△ 46

(単位:円)

	08年3月期 実績	09年3月期 見込	増減
1株当り年間配当金	4,800	5,200	400
配当性向	19.3%	33.7%	14.4%pt
(のれん調整後)	19.0%	19.9%	0.9%pt

業績予想の主な前提条件

国内たばこ事業 (単位:億円)

	08年3月期 実績	09年3月期 見込	増減
販売数量	1,677	1,590	△ 87

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

海外たばこ事業 (単位:億本、円)

	07年12月期 実績	08年12月期 見込	増減
販売数量	3,856	4,500	644
GFB販売数量	2,032	2,430	398
1USDドル	117.85	100.00	△ 17.85

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	償却費算定の前提 となるのれん金額	09年3月期 償却見込	償却年数	終了
旧RJRI及び旧Gallaher関連	18,159	908	20年	'27年3月

(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業 (単位:億円)

	償却費算定の前提 となるのれん金額	09年3月期 償却見込	償却年数	終了
加ト吉	450	90	5年	'12年12月

主要投資案件の商標権償却費

JT (単位:億円)

	08年3月期 実績	09年3月期 償却見込	償却年数	終了
旧RJRI関連	293	293	10年	'09年4月

JT国際ナショナル (単位:百万ドル)

	07年12月期 実績	08年12月期 償却見込	償却年数	終了
旧RJRI及び旧Gallaher関連	220	284	主に20年	'27年3月

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

【当資料取扱上の注意点】

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

# 国内JT製品データ集

(注1): 表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

(注2): 従来ベース: JTオリジナルブランド + 2005年4月末までのマールポロ + 2005年5月以降のJTの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)

新ベース: JTオリジナルブランド + JTの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)

## 国内たばこ事業関連係数

### 1. 四半期別販売数量

(単位: 億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	505	485	481	422	1,894
2006年度	540	368	446	393	1,749
2007年度	427	430	437	382	1,677

(注): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

### 2. 四半期別定価代金

(単位: 億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	6,947	6,642	6,582	5,780	25,952
2006年度	7,403	5,475	6,646	5,870	25,395
2007年度	6,367	6,414	6,516	5,700	24,998

(注1): 販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

### 3. 四半期別千本当売上高

(単位: 円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	11,715	11,653	11,657	11,667	11,674
2006年度	11,663	12,677	12,688	12,699	12,371
2007年度	12,698	12,694	12,704	12,702	12,699

(注1): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

### 4. 四半期別千本当税抜売上高

(単位: 円)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	3,901	3,845	3,849	3,857	3,864
2006年度	3,852	4,050	4,050	4,056	3,990
2007年度	4,056	4,053	4,063	4,057	4,057
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	3,845	3,846	3,849	3,857	3,849
2006年度	3,852	4,050	4,050	4,056	3,990
2007年度	4,056	4,053	4,063	4,057	4,057

(注): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当税抜売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

### 5. 四半期別シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	69.6	65.4	65.3	65.2	66.4
2006年度	65.5	64.2	64.7	64.5	64.8
2007年度	64.9	64.5	65.3	65.0	64.9
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	66.1	65.5	65.3	65.2	65.5
2006年度	65.5	64.2	64.7	64.5	64.8
2007年度	64.9	64.5	65.3	65.0	64.9

## 伸張セグメントシェア

### 1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	10.6	11.7	12.2	12.5	11.7
2006年度	12.4	12.5	13.3	13.6	12.9
2007年度	13.9	13.7	14.0	14.3	14.0
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	11.3	11.7	12.2	12.5	11.9
2006年度	12.4	12.5	13.3	13.6	12.9
2007年度	13.9	13.7	14.0	14.3	14.0

②セグメント内シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	55.7	60.4	60.8	61.6	61.6
2006年度	61.3	60.9	62.4	62.2	62.2
2007年度	62.0	61.6	62.1	62.0	62.0
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	59.7	60.4	60.8	61.6	61.6
2006年度	61.3	60.9	62.4	62.2	62.2
2007年度	62.0	61.6	62.1	62.0	62.0

### 2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	8.1	6.5	6.6	6.7	7.0
2006年度	6.7	6.9	6.7	7.1	6.8
2007年度	7.2	7.5	7.2	7.5	7.4
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	6.3	6.5	6.6	6.7	6.5
2006年度	6.7	6.9	6.7	7.1	6.8
2007年度	7.2	7.5	7.2	7.5	7.4

②セグメント内シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	45.1	34.4	34.9	35.1	35.1
2006年度	35.0	34.1	33.8	34.8	34.8
2007年度	34.9	35.2	34.0	34.4	34.4
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	34.7	34.4	34.9	35.1	35.1
2006年度	35.0	34.1	33.8	34.8	34.8
2007年度	34.9	35.2	34.0	34.4	34.4

### 3. 四半期別320円以上製品セグメントシェア

①JT 320円以上製品市場シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	8.8	5.1	5.4	5.9	6.3
2006年度	5.7	5.4	5.2	5.5	5.5
2007年度	5.6	5.2	5.4	5.3	5.4
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	5.1	5.2	5.4	5.9	5.4
2006年度	5.7	5.4	5.2	5.5	5.5
2007年度	5.6	5.2	5.4	5.3	5.4

②セグメント内シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	39.1	22.2	23.1	24.5	24.5
2006年度	24.3	22.5	22.6	23.2	23.2
2007年度	23.5	22.0	22.5	21.9	21.9
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	22.6	22.3	23.2	24.5	24.5
2006年度	24.3	22.5	22.6	23.2	23.2
2007年度	23.5	22.0	22.5	21.9	21.9

\* 2006年4-6月期以前は300円以上製品セグメント

### 4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	0.91	1.24	1.78	3.12	1.72
2006年度	4.12	3.84	3.85	4.34	4.04
2007年度	4.41	4.10	4.77	5.13	4.59

\* ビアニッシモ及びプレミアは2006年3月より、バヴェル・フレアは2006年12月より、

D-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目（2008年5月1日現在）

開発名	開発段階	適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase2	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	高脂血症	MTP（ミクソソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる高脂血症治療薬	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害するインテグラーゼ阻害薬	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-302 (経口)	海外：Phase2	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	
JTT-305 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase1	骨粗鬆症	CaSR（カルシウム感知受容体）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する骨粗鬆症治療薬	
JTT-552 (経口)	国内：Phase2	高尿酸血症	URAT1（尿酸トランスポーター1）阻害	腎臓における尿酸の再吸収に関与するURAT1の働きを阻害することにより、尿中への尿酸排泄を促進させ、血中尿酸値を低下させる高尿酸血症治療薬	
JTT-553 (経口)	海外：Phase1	肥満症	DGAT1（ジアシルグリセロールアシルトランスフェラーゼ1）阻害	トリグリセリドの合成に関わる酵素であるDGAT1を阻害することにより、小腸からの脂肪の吸収及び脂肪組織での脂肪の蓄積を抑制する肥満症治療薬	
JTT-651 (経口)	国内：Phase1	2型糖尿病	GP（グリコーゲンホスホリラーゼ）阻害	グリコーゲン分解酵素であるGPの働きを阻害することにより、肝臓から血中への糖放出を抑制し、血糖を低下させる糖尿病治療薬	
JTK-652 (経口)	海外：Phase1	C型肝炎	エントリー阻害	HCV（C型肝炎ウイルス）の肝細胞への感染過程を阻害するC型肝炎治療薬	
JTS-653 (経口)	国内：Phase1	鎮痛、過活動膀胱	TRPV1（パニロイド受容体1）阻害	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する鎮痛薬・過活動膀胱治療薬	
JTT-654 (経口)	海外：Phase1	2型糖尿病	HSD-1（11βヒドロキシステロイド脱水素酵素）阻害	HSD-1の働きを阻害することにより、過剰なグルココルチコイド作用を抑制する糖尿病治療薬	

前回（2008年2月7日）公表時からの変更点：

JTT-654の海外臨床入り

JTT-705 国内臨床試験 Phase1からPhase2へ移行

JTT-705の権利欄、導出先のロシュ社の記載において、「同社はPhase3移行を決定」から「同社ではPhase3」に変更